

フクロウ (*Strix uralensis*) をシンボル とした自然保護活動 ～生物多様性を次世代へ～

私たちのフクロウ保護プロジェクトは、
保護、研究、教育の3つの柱で実践してい
ます。

保護

巣箱掛けによるフクロウの子育て支援

研究

フクロウの生態研究
ペリット調査による給餌特性解明
研究発表

教育 (啓発活動)

体験型の講演会
フクロウ巣箱づくり
展示・写真展

三重県立四日市西高等学校 自然研究会

フクロウ保護プロジェクト

私たちの町にフクロウを！



3つの活動の柱

保護



研究



教育



活動の目的

地球には数多くの種類の生物が棲んでいます。それらの生物は、人間も含めて互いに繋がり支え合っています。これを生物多様性といいます。

フクロウは森林生態系の頂点に立つ生物です。フクロウを守る取り組みは、多くの生物が棲む環境を守る取り組みであり、生物多様性を守ることに繋がります。

このフクロウが棲む環境を次世代に引き継ぐため、保護、研究、教育の3つの柱でフクロウ保護プロジェクトを推進します。

私たちは、フクロウの魅力を最大限に活用し、フクロウをシンボルとして、地域の自然保護に対する意識の向上に努め、この活動がさらに広がり、全国の自然環境が保全・育成されることを目指します。



活動内容

保護：巣箱掛けによるフクロウの子育て支援

フクロウが安心して安全に繁殖できることが大切です。狩場や水場に近い場所に設置しますが、アライグマなど木に登る天敵動物、カメラマン、密猟者対策が欠かせません。行政・森林組合・企業・自治会などと連携させて頂き、鈴鹿山脈の山麓を中心に、四日市市、菰野町、いなべ市、津市などに巣箱の設置を進めています。現在の設置数は39箱です。(H29年11月)



巣箱づくり



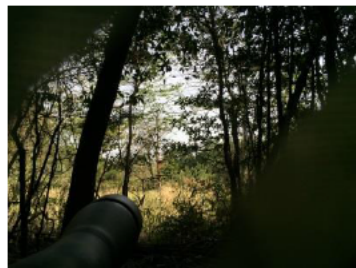
巣箱掛け



4市町に巣箱掛け

研究：フクロウの生態研究・ペリット調査による給餌特性解明・研究発表など

3月中旬からフクロウは抱卵を開始します。この時期から繁殖を阻害しないよう十分な配慮のもと生態調査を実施します。繁殖後に巣箱に残されたペリット内容物を分析し捕食された動物の同定を行います。各地域の餌動物を特定することで、餌動物を含めた総合的な保護活動に繋がりたいと考えています。研究結果は、各種の研究発表会や日本鳥学会等で発表します。



ブラインド内から観察



ペリット調査



研究発表

教育（啓発活動）：研究活動を通して分かったフクロウの生態や魅力を地域で発信

大人や子ども向けの体験型の講演会を実施し、フクロウや環境を守る意義を伝えます。地域の人と巣箱づくりをして、自分たちの活動からみんなの活動へ輪を広げます。学童保育所で小学生向けの啓発活動を行い、次世代へ活動を繋げます。各地で活動紹介や写真展なども行います。



体験型講演会



学童保育所で啓発活動



展示による活動紹介

経歴

四日市西高校自然研究会では、本校周辺の豊かな湧水に育まれた里山環境に生息する動植物の調査研究と保護活動を実施してきました。2015年春、四日市市西部丘陵地帯でフィールド活動中に1羽のフクロウの鳴き声を聞きました。このことがきっかけでフクロウ保護プロジェクトを始めました。

H27年度 四日市市西部丘陵地帯にフクロウ用巣箱を7箱設置

H28年度 四日市市、菰野町、津市に15箱の巣箱を設置

三重生物研究発表会 知事賞受賞

H29年度 行政、森林組合、企業との連携が進み18箱の巣箱を設置

日本鳥学会2017年大会 研究発表

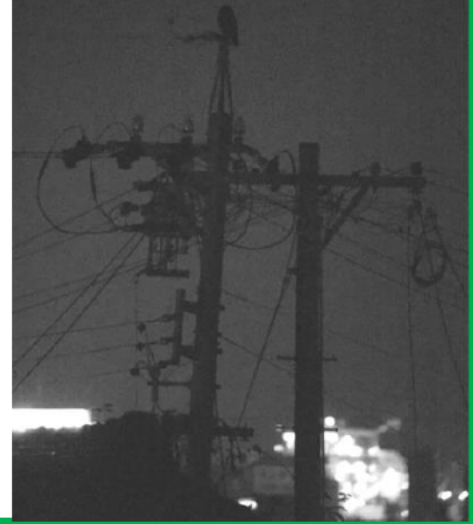
生物多様性アクション大賞2017 入賞

第52回全国野生生物保護実績発表大会 文部科学大臣賞 受賞

四日市市環境活動賞 受賞

第66回三重生物研究発表会 知事賞受賞 など

四日市市内のフクロウ



今後の予定

フクロウ保護プロジェクト：保護、研究、教育の3つの柱の更なる推進

保護

- ・ 外来のアライグマ対策
- ・ フクロウの棲む森づくり
- ・ 餌動物の保護活動

研究

- ・ テレメトリーを用いた生態調査
- ・ 巣箱内撮影技術の確立
- ・ 巣箱を利用する生物の調査研究

教育

- ・ 安易な巣箱掛け防止の啓発活動

【フクロウの棲む森を次世代へ】

